

令和 7 年 7 月 1 日

守谷市議会議長 殿

委員長： 高橋 典久 印

報告者： 渡辺 大士 印

議会運営委員会 視察・研修報告

標記の件について、次のとおり実施したので報告します。

視察・研修日		令和 7 年 7 月 1 日（火）
視察・研修場所		新潟県 上越市 上越市役所
視察・研修項目		政務活動費、セムカンについて
参加者	守谷市側	守谷市議会：高橋典久、渡辺大士、寺田文彦 長谷川信市、梅木伸治、田中啓一 堤茂信、海老原博幸、高梨隆 議会事務局：飯島・恩田
	相手側	上越市役所：議長 渡邊 隆 事務局長 大島茂 事務局 小池
視察・研修目的		議員のなり手不足問題や物価高騰等により今一度、政務活動費や議員報酬のあり方について学ぶ必要があると考え、他市の事例を視察する。
視察・研修内容		政務活動費、クラウドサービス「セムカン」について
視察・研修総括 （今後の取組み等）		個人に政務活動費を支給する自治体は全国でも少なく、会派と個人に支給する額を変えている考え方は興味深かった。議員個人に支給するメリットとしては議員個々の活動と責任の所在が明確になることにあり、多様化・専門化する課題の対応が可能になると感じた。デメリットとしては共通経費の縮減が出来ないといった部分であった。また会派としての経費としては研修費・広報費が多く、個人での経費は広報費・資料購入費が多いことがわかった。セムカンについては現在の守谷市の政務活動費では導入は

	<p>難しく、導入する際には活動費の見直しを行うか、議会費から捻出する方法しかないだろう。情報公開機能に関してはそこに辿り着くまでのプロセスは現在と変わらないため管理が必要な金額、使途が多岐に渡る場合には良いシステムだと感じた。</p>
視察・研修内容	
<p>●上越市 概要</p> <p>面積 : 973.3k m²</p> <p>人口 : 178,933 人</p> <p>世帯数 : 77,751 世帯</p> <p>人口密度 : 182/k m²</p> <p>■議会費</p> <p>5.71 億円/1025 億 6,775 万円（一般会計予算）</p> <p>割合 : 約 0.5%</p> <p>■政務活動費</p> <p>議員 1 人あたり 月額 37,500 円 年間 450,000 円</p> <p>会派は所属議員 1 人につき月額 12,500 円</p> <p>最大月額 50,000 円 年間 600,000 円</p> <p>守谷市で規定されていない範囲として</p> <p>「要請・陳情活動費」: 国県に要望陳情を行う際にかかる経費</p> <p>「人件費」: 活動補助職員を雇用する経費</p> <p>「事務所費」: 活動に必要な事務所設置・維持管理経費</p> <p>上記 3 つの項目がある。</p> <p>実績として要請陳情活動費は移動費として支出実績あり</p> <p>人件費は支出実績なし</p> <p>事務所費は事務所の電話代、電気代等（按分率 1/3）が実績あり</p> <p>その他、市の面積が大きいためガソリン代などの交通費支出実績があるのも当市との違いとして挙げられる。</p> <p>■旅費上限額</p> <p>1 泊 14,800 円としているが視察先で金額範囲内の宿泊施設がない場合</p>	

は一考の余地あり

■議員定数

現在 32 名

■議員報酬

議長 531,000 円

副議長 469,800 円

議員 442,100 円

■市民への意見聴取について

どの項目においても直接的に市民からの意見聴取は行っていない

■政務活動費の変遷

政務活動費は平成 13 年時で会派・個人それぞれ 12,500 円

平成 17 年にそれぞれ 25,000 円へ倍増

令和 2 年に会派としての支給を 12,500 円減額し個人への支給を 12,500 円増額し現在に至る。

■セムカンについて

実証実験期間：令和 5 年 3 月～令和 6 年 4 月

本格導入：令和 6 年 5 月～

運用方法：収支報告書の自動作成、情報公開機能など管理を一貫してシステム化することによる業務効率化（タブレットで利用可）

費用：政務活動費から支払い 上越市の場合は年間 1,098,240 円

業者：(株)エイブルコンピュータ

本社：石川県金沢市 東京営業所：東京都渋谷区西原